



2023年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2023年5月11日

上場会社名 アツギ株式会社
コード番号 3529 URL <https://www.atsugi.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長
定時株主総会開催予定日 2023年6月29日

上場取引所 東

(氏名) 日光 信二
(氏名) 古川 雅啓
TEL 046-235-8107
有価証券報告書提出予定日 2023年6月29日

配当支払開始予定日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	20,503	4.4	2,131		1,583		1,215	
2022年3月期	21,445	32.2	2,293		1,804		1,827	

(注) 包括利益 2023年3月期 1,212百万円 (%) 2022年3月期 1,430百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	75.87		3.9	3.8	10.4
2022年3月期	114.03		5.6	4.2	10.7

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 百万円 2022年3月期 11百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	40,688	30,932	76.0	1,930.44
2022年3月期	42,234	32,145	76.1	2,005.98

(参考) 自己資本 2023年3月期 30,932百万円 2022年3月期 32,145百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	1,356	760	471	4,749
2022年3月期	748	1,043	616	5,500

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期		0.00		0.00	0.00			
2023年3月期		0.00		0.00	0.00			
2024年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00			

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,800	11.0	300		200		500		31.20

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期	17,319,568 株	2022年3月期	17,319,568 株
期末自己株式数	2023年3月期	1,296,128 株	2022年3月期	1,294,494 株
期中平均株式数	2023年3月期	16,024,210 株	2022年3月期	16,026,531 株

(参考) 個別業績の概要

2023年3月期の個別業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	13,374	2.3	1,335		708		388	
2022年3月期	13,684	7.8	1,392		1,584		1,652	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	24.24	
2022年3月期	103.08	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
2023年3月期	37,676		29,658		78.7	1,850.95		
2022年3月期	38,818		30,002		77.3	1,872.24		

(参考) 自己資本 2023年3月期 29,658百万円 2022年3月期 30,002百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.経営成績等の概況 (4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15
4. 個別財務諸表	16
(1) 貸借対照表	16
(2) 損益計算書	18
(3) 株主資本等変動計算書	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限や入国制限の緩和により社会・経済活動の正常化が進み、緩やかに改善の兆しが見られました。その一方で、ウクライナ情勢の長期化などによる資源・エネルギー価格の上昇や外国為替相場における急激な円安進行等が景気の下押し圧力となるなど、先行きは不透明な状況で推移しました。

繊維業界においては、行動制限の緩和に伴う外出機会の増加により、個人消費は回復傾向にありますが、物価上昇による消費者の生活防衛意識や節約志向の高まりから衣料品への支出には慎重さが見られるなど、本格的な回復には至っておらず、依然として厳しい環境が続いております。

このような状況において当社グループは、経営体制の刷新を図り、2023年3月期から2025年3月期までを実行期間とする中期経営計画『ATSUGI VISION 2024』をスタートさせました。本計画では、顧客ニーズの変化と多様性に的確に対応したうえで、「事業ポートフォリオの強化」、「生産体制の再編による収益基盤の強化」、「資本の効率化」の3つの重点課題に取り組むことにより収益性を高めることに注力し、まずは足元において黒字転換を図ること、そして、その先にある将来の持続的成長のための安定した財務基盤の確立を目指しております。

当連結会計年度においては、収益構造の抜本的な見直しとさらなる製造原価の低減を目的として、2022年5月をもって国内生産子会社であるアツギ東北株式会社の生産業務を終了し、中国工場への生産移管を進めるとともに、販売においては、行動制限の緩和による人流回復とそれに伴うストック需要の回復を想定し、ストックの主力ブランド「ASTIGU（アスティグ）」のリブランディングを行うなどの商品戦略による巻き返しを図りましたが、物価高を背景とした消費者の生活防衛意識や節約志向の高まりなどから売上は想定を下回る結果となりました。利益面においても、急激な円安進行をはじめ、原燃料価格や物流費の高止まり、人件費の上昇などのコストアップ要因が重なったこと等により、厳しい状況で推移しました。

この結果、当連結会計年度の売上高は20,503百万円（前年同期比4.4%減）、営業損失は2,131百万円（前年同期は2,293百万円の損失）、経常損失は1,583百万円（前年同期は1,804百万円の損失）、親会社株主に帰属する当期純損失は1,215百万円（前年同期は1,827百万円の損失）となりました。

セグメント別の経営成績を示すと、次の通りであります。

〔繊維事業〕

レグウェア分野は、行動制限の緩和により個人消費に回復の兆しが見られましたが、物価上昇による消費者の生活防衛意識の高まりなどから高価格帯の商品が苦戦し、同分野の売上高は11,013百万円（前年同期比3.7%減）となりました。

インナーウェア分野は、紳士インナーウェアは堅調に推移しましたが、レグウェア同様、消費者の生活防衛意識の高まりなどから全般的に厳しく、同分野の売上高は8,246百万円（前年同期比5.7%減）となりました。

これらの結果、繊維事業の売上高は19,260百万円（前年同期比4.5%減）、営業損失は2,474百万円（前年同期は2,614百万円の損失）となりました。

〔不動産事業〕

保有資産の有効活用を進めておりますが、当事業の売上高は544百万円（前年同期比1.2%増）、営業利益は388百万円（前年同期比0.8%減）となりました。

〔その他〕

その他の事業につきましては、太陽光発電による売電は天候の影響などにより発電量が減少し、介護分野も苦戦しました。これらの結果、当事業の売上高は699百万円（前年同期比4.7%減）、営業利益は58百万円（前年同期比18.2%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は40,688百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,545百万円減少いたしました。主な増減内容は、現金及び預金の減少1,521百万円、棚卸資産の減少670百万円、投資有価証券の減少580百万円、無形固定資産の増加866百万円および有形固定資産の増加202百万円等によるものであります。

負債の部は9,756百万円となり、前連結会計年度末に比べ332百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金金の減少470百万円等によるものであります。

純資産の部は30,932百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,213百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純損失1,215百万円の計上による減少等によるものであります。

この結果、当連結会計年度末の自己資本比率は、前連結会計年度末の76.1%から76.0%となっております。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純損失1,171百万円、投資有価証券売却益による減少507百万円、棚卸資産の減少684百万円等により、1,356百万円の支出となりました。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出1,216百万円、無形固定資産の取得による支出633百万円、投資有価証券の売却による収入1,032百万円、定期預金の払戻しによる収入815百万円、有形固定資産売却による収入695百万円等により、760百万円の収入となりました。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出470百万円等により471百万円の支出となりました。

この結果、当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ751百万円減少し、4,749百万円となりました。

(4) 今後の見通し

わが国経済の今後の見通しにつきましては、過年度から続く業績悪化を踏まえ、経営体制の刷新を図るとともに、当連結会計年度より、中期経営計画『ATSUGI VISION 2024』をスタートさせて、「事業ポートフォリオの強化」、「生産体制の再編による収益基盤の強化」、「資本の効率化」の3つの重点課題に取り組むことにより黒字転換を図り、さらには将来の持続的成長のための安定した財務基盤の確立を目指しております。

当連結会計年度においては、生産の海外シフトを進めるなど、収益力の強化により黒字転換を目指しましたが、コア事業であるストックングの市場縮小による競争の激化や、急激な円安進行が利益面において逆風となるなど、赤字体質の解消には至らず、中期経営計画の初年度である当連結会計年度は大幅な計画未達となりました。

初年度の結果を踏まえ、当社グループは、中期経営計画『ATSUGI VISION 2024』の計画を改訂いたしました。

改訂後の『ATSUGI VISION 2024』では、主力領域であるストックング市場の低位安定、ブランド力の脆弱化や顧客への訴求力不足等、当社における現状の課題を真摯に受け止めたうえで、課題解決に向けて、「顧客視点に立脚した価値創りへのシフト」、「ブランド力強化による市場ポジションの明確化」、「企業風土改革による強い組織力の実現」、「従前発想から脱却したビジネスモデルの実現」の4つの新たな課題を掲げて、それぞれの課題に対する戦略を実行してまいります。あわせて、このような先行き不透明・不確実な状況の中、企業として今後の進むべき方向性を明確にするため、当社がこれまで歩んできた道のを振り返り、あらためて、自分たちの存在意義とこれから目指すべき姿を言語化することとし、パーパスを『肌と心がよるこぶ、今と未来へ。』、ビジョンを『肌心地から、感動を生み出す フィールウェアのアツギへ。』に制定いたしました。パーパスおよびビジョンの実現に向けて、グループ一丸となってこの難局を乗り越えてまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,309	4,787
受取手形及び売掛金	4,204	4,241
商品及び製品	4,854	4,179
仕掛品	1,149	1,029
原材料及び貯蔵品	510	635
その他	1,520	1,713
貸倒引当金	△24	△24
流動資産合計	18,524	16,562
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,395	14,734
減価償却累計額	△13,031	△13,049
建物及び構築物 (純額)	1,364	1,685
機械装置及び運搬具	14,691	12,642
減価償却累計額	△13,010	△10,825
機械装置及び運搬具 (純額)	1,681	1,817
土地	12,182	12,011
建設仮勘定	514	420
その他	882	744
減価償却累計額	△806	△658
その他 (純額)	75	86
有形固定資産合計	15,818	16,020
無形固定資産		
土地使用権	181	468
ソフトウェア	49	74
ソフトウェア仮勘定	237	794
その他	2	1
無形固定資産合計	471	1,338
投資その他の資産		
投資有価証券	7,201	6,621
繰延税金資産	9	0
その他	209	144
貸倒引当金	△0	—
投資その他の資産合計	7,419	6,767
固定資産合計	23,709	24,126
資産合計	42,234	40,688

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,065	1,957
1年内返済予定の長期借入金	470	470
未払法人税等	93	138
賞与引当金	77	43
その他	2,215	2,681
流動負債合計	4,922	5,291
固定負債		
長期借入金	1,380	909
繰延税金負債	1,154	1,052
再評価に係る繰延税金負債	1,286	1,286
退職給付に係る負債	1,090	967
その他	254	249
固定負債合計	5,166	4,465
負債合計	10,088	9,756
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	12,042	10,272
利益剰余金	△2,630	△2,076
自己株式	△1,466	△1,466
株主資本合計	27,945	26,728
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,850	1,839
繰延ヘッジ損益	459	411
土地再評価差額金	388	388
為替換算調整勘定	1,500	1,563
その他の包括利益累計額合計	4,200	4,203
純資産合計	32,145	30,932
負債純資産合計	42,234	40,688

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	21,445	20,503
売上原価	16,326	15,125
売上総利益	5,119	5,378
販売費及び一般管理費	7,413	7,509
営業損失(△)	△2,293	△2,131
営業外収益		
受取利息	34	24
受取配当金	185	206
持分法による投資利益	11	—
為替差益	101	235
補助金収入	55	—
貸倒引当金戻入額	53	—
その他	80	109
営業外収益合計	522	575
営業外費用		
支払利息	11	8
支払手数料	1	5
租税公課	3	3
その他	18	9
営業外費用合計	33	27
経常損失(△)	△1,804	△1,583
特別利益		
固定資産売却益	33	49
投資有価証券売却益	—	507
関係会社出資金売却益	74	—
特別利益合計	108	557
特別損失		
固定資産売却損	16	24
固定資産除却損	47	27
減損損失	33	51
投資有価証券評価損	—	42
投資有価証券売却損	—	0
特別損失合計	98	146
税金等調整前当期純損失(△)	△1,794	△1,171
法人税、住民税及び事業税	49	78
法人税等調整額	△20	△34
法人税等合計	28	43
当期純損失(△)	△1,822	△1,215
非支配株主に帰属する当期純利益	4	—
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△1,827	△1,215

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純損失(△)	△1,822	△1,215
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△598	△10
繰延ヘッジ損益	253	△48
為替換算調整勘定	794	62
持分法適用会社に対する持分相当額	△57	—
その他の包括利益合計	392	2
包括利益	△1,430	△1,212
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△1,457	△1,212
非支配株主に係る包括利益	26	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	20,000	16,148	△4,686	△1,464	29,997
会計方針の変更による累積的影響額			△233		△233
会計方針の変更を反映した当期首残高	20,000	16,148	△4,920	△1,464	29,763
当期変動額					
欠損填補		△4,117	4,117		—
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△1,827		△1,827
自己株式の取得				△1	△1
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		11			11
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△4,105	2,290	△1	△1,817
当期末残高	20,000	12,042	△2,630	△1,466	27,945

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	2,448	206	388	785	3,830	128	33,956
会計方針の変更による累積的影響額							△233
会計方針の変更を反映した当期首残高	2,448	206	388	785	3,830	128	33,722
当期変動額							
欠損填補							—
親会社株主に帰属する当期純損失(△)							△1,827
自己株式の取得							△1
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動							11
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△598	253	—	714	370	△128	241
当期変動額合計	△598	253	—	714	370	△128	△1,576
当期末残高	1,850	459	388	1,500	4,200	—	32,145

当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	20,000	12,042	△2,630	△1,466	27,945
当期変動額					
欠損填補		△1,770	1,770		—
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)			△1,215		△1,215
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		△0		0	0
その他			△0		△0
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	△1,770	554	△0	△1,216
当期末残高	20,000	10,272	△2,076	△1,466	26,728

	その他の包括利益累計額					純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	1,850	459	388	1,500	4,200	32,145
当期変動額						
欠損填補						—
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)						△1,215
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						0
その他						△0
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△10	△48	—	62	2	2
当期変動額合計	△10	△48	—	62	2	△1,213
当期末残高	1,839	411	388	1,563	4,203	30,932

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失 (△)	△1,794	△1,171
減価償却費	433	448
減損損失	33	51
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△106	△1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3	△33
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△66	△123
受取利息及び受取配当金	△219	△231
支払利息	11	8
持分法による投資損益 (△は益)	△11	—
補助金収入	△55	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△507
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	42
関係会社出資金売却益	△74	—
有形固定資産除却損	47	27
有形固定資産売却損益 (△は益)	△16	△25
売上債権の増減額 (△は増加)	△15	△29
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,025	684
仕入債務の増減額 (△は減少)	558	△97
未払消費税等の増減額 (△は減少)	79	△131
その他	△685	△433
小計	△859	△1,522
利息及び配当金の受取額	219	231
補助金の受取額	55	—
利息の支払額	△11	△8
特別退職金の支払額	△76	—
法人税等の支払額	△77	△56
営業活動によるキャッシュ・フロー	△748	△1,356
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△808	△38
定期預金の払戻による収入	808	815
有形固定資産の取得による支出	△1,016	△1,216
有形固定資産の売却による収入	51	695
無形固定資産の取得による支出	△107	△633
無形固定資産の売却による収入	—	138
投資有価証券の取得による支出	△35	△35
投資有価証券の売却による収入	—	1,032
貸付金の回収による収入	64	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,043	760

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△0	△0
非支配株主への配当金の支払額	△12	—
自己株式の取得による支出	△1	△0
長期借入金の返済による支出	△470	△470
連結の範囲の変更を伴わない関係会社出資金の取得による支出	△131	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△616	△471
現金及び現金同等物に係る換算差額	505	316
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,902	△751
現金及び現金同等物の期首残高	7,403	5,500
現金及び現金同等物の期末残高	5,500	4,749

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、レグウェアの製造販売を主要な事業として展開しており、「繊維事業」「不動産事業」を報告セグメントとしております。

「繊維事業」は、主にレグウェア、インナーウェアの製造及び販売を行っております。「不動産事業」は、分譲土地の購入及び販売、土地及び建物の賃貸事業を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。報告セグメントの利益又は損失は、営業利益又は損失ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	繊維事業	不動産事業	計				
売上高							
レグウェア	11,431	—	11,431	—	11,431	—	11,431
インナーウェア	8,743	—	8,743	—	8,743	—	8,743
その他	—	24	24	733	758	—	758
顧客との契約から生じる収益	20,174	24	20,199	733	20,933	—	20,933
その他の収益	—	512	512	—	512	—	512
外部顧客への売上高	20,174	537	20,712	733	21,445	—	21,445
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	0	1	1	△1	—
計	20,174	537	20,712	734	21,447	△1	21,445
セグメント利益又は損失(△)	△2,614	391	△2,223	49	△2,174	△119	△2,293
セグメント資産	29,180	6,689	35,870	1,379	37,249	4,984	42,234
その他の項目							
減価償却費(注) 4	336	19	355	72	428	4	433
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	854	—	854	1	855	20	875

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	繊維事業	不動産事業	計				
売上高							
レッグウェア	11,013	—	11,013	—	11,013	—	11,013
インナーウェア	8,246	—	8,246	—	8,246	—	8,246
その他	—	0	0	699	699	—	699
顧客との契約から生じる収益	19,260	0	19,260	699	19,959	—	19,959
その他の収益	—	544	544	—	544	—	544
外部顧客への売上高	19,260	544	19,804	699	20,503	—	20,503
セグメント間の内部売上高又 は振替高	0	—	0	0	0	△0	—
計	19,260	544	19,804	699	20,504	△0	20,503
セグメント利益又は損失(△)	△2,474	388	△2,086	58	△2,027	△103	△2,131
セグメント資産	28,333	6,625	34,959	1,216	36,175	4,513	40,688
その他の項目							
減価償却費(注) 4	354	20	375	65	441	7	448
有形固定資産及び無形固定資 産の増加額	1,782	—	1,782	1	1,783	12	1,795

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり介護用品の仕入、販売、グループホームの運営および太陽光発電による売電であります。

2. 調整額の内容は、以下のとおりです。

セグメント利益又は損失

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
全社費用	△119	△103
合計	△119	△103

※ 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない、本社等の土地・建物（転用を検討中の土地・建物を含む）に係る費用であります。

セグメント資産

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
全社資産	4,984	4,513
合計	4,984	4,513

※ 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない、本社等の土地・建物（転用を検討中の土地・建物を含む）および長期投資資金(投資有価証券)であります。

3. セグメント利益又は損失は、連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。
 4. 減価償却費には、長期前払費用に係る償却額が含まれております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他	全社・消去	合計
	繊維事業	不動産事業	計			
減損損失	33	—	33	—	—	33

（注） 繊維事業において、収益性の低下等により投資額の回収が見込めなくなった事業用資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減損処理しております。これらの結果、繊維事業において33百万円の減損損失を計上しております。

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他	全社・消去	合計
	繊維事業	不動産事業	計			
減損損失	—	—	—	51	—	51

（注） グループホーム事業において、収益性の低下等により投資額の回収が見込めなくなった事業用資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減損処理しております。これらの結果、その他において51百万円の減損損失を計上しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産	2,005.98円	1,930.44円
1株当たり当期純損失(△)	△114.03円	△75.87円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純損失 (△) (百万円)	△1,827	△1,215
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純損失(△) (百万円)	△1,827	△1,215
普通株式の期中平均株式数 (千株)	16,026	16,024

3. 1株当たり純資産の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
純資産の部の合計額 (百万円)	32,145	30,932
純資産の部の合計額から控除する金額		
(うち非支配株主持分) (百万円)	(—)	(—)
普通株式に係る期末の純資産 (百万円)	32,145	30,932
1株当たり純資産の算定に用いられた 期末の普通株式の数 (千株)	16,025	16,023

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,243	1,419
受取手形	62	75
売掛金	2,471	2,550
商品及び製品	4,172	3,400
原材料及び貯蔵品	16	53
前払費用	86	59
その他	1,494	1,587
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	10,546	9,145
固定資産		
有形固定資産		
建物	352	767
構築物	6	22
機械及び装置	436	572
車両運搬具	0	0
土地	12,182	12,011
建設仮勘定	462	0
その他	12	27
有形固定資産合計	13,454	13,401
無形固定資産		
ソフトウェア	6	43
ソフトウェア仮勘定	237	794
その他	1	1
無形固定資産合計	245	838
投資その他の資産		
投資有価証券	7,201	6,621
関係会社株式	419	339
関係会社出資金	4,309	4,780
関係会社長期貸付金	5,466	5,703
破産更生債権等	0	—
長期前払費用	13	1
その他	150	117
貸倒引当金	△2,990	△3,273
投資その他の資産合計	14,572	14,289
固定資産合計	28,271	28,530
資産合計	38,818	37,676

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	370	306
買掛金	2,004	1,892
1年内返済予定の長期借入金	470	470
未払金	889	693
未払費用	55	54
未払法人税等	76	133
前受金	60	65
預り金	13	14
賞与引当金	54	37
その他	323	351
流動負債合計	4,318	4,017
固定負債		
長期借入金	1,380	909
繰延税金負債	864	851
再評価に係る繰延税金負債	1,286	1,286
退職給付引当金	716	702
その他	249	249
固定負債合計	4,496	3,999
負債合計	8,815	8,017
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金		
資本準備金	4,951	4,951
その他資本剰余金	5,661	3,890
資本剰余金合計	10,612	8,841
利益剰余金		
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	28	25
繰越利益剰余金	△1,799	△413
利益剰余金合計	△1,770	△388
自己株式	△1,520	△1,521
株主資本合計	27,320	26,931
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,836	1,825
繰延ヘッジ損益	456	512
土地再評価差額金	388	388
評価・換算差額等合計	2,682	2,727
純資産合計	30,002	29,658
負債純資産合計	38,818	37,676

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	13,684	13,374
売上原価	10,275	9,955
売上総利益	3,408	3,419
販売費及び一般管理費	4,800	4,754
営業損失(△)	△1,392	△1,335
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	404	694
受取賃貸料	38	50
為替差益	124	196
補助金収入	6	—
債務保証損失引当金戻入額	53	—
その他	24	36
営業外収益合計	652	978
営業外費用		
支払利息	11	8
固定資産賃貸費用	47	44
支払手数料	1	5
租税公課	3	3
貸倒引当金繰入額	773	284
その他	8	5
営業外費用合計	844	351
経常損失(△)	△1,584	△708
特別利益		
固定資産売却益	—	7
投資有価証券売却益	—	507
関係会社出資金売却益	28	—
特別利益合計	28	514
特別損失		
固定資産売却損	16	17
固定資産除却損	47	0
減損損失	16	—
投資有価証券評価損	—	42
投資有価証券売却損	—	0
関係会社株式評価損	—	80
特別損失合計	79	141
税引前当期純損失(△)	△1,635	△334
法人税、住民税及び事業税	30	53
法人税等調整額	△14	—
法人税等合計	16	53
当期純損失(△)	△1,652	△388

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計
					固定資産 圧縮積立 金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	20,000	4,951	9,778	14,729	48	32	△4,198	△4,117
会計方針の変更による 累積的影響額							△118	△118
会計方針の変更を反映し た当期首残高	20,000	4,951	9,778	14,729	48	32	△4,316	△4,236
当期変動額								
欠損填補			△4,117	△4,117			4,117	4,117
利益準備金の取崩					△48		48	—
固定資産圧縮積立金の 取崩						△3	3	—
当期純損失(△)							△1,652	△1,652
自己株式の取得								
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	△4,117	△4,117	△48	△3	2,517	2,465
当期末残高	20,000	4,951	5,661	10,612	—	28	△1,799	△1,770

(単位:百万円)

	株主資本		評価・換算差額等				純資産合計
	自己株式	株主資本 合計	その他有 価証券評 価差額金	繰延ヘッ ジ損益	土地再評 価差額金	評価・換 算差額等 合計	
当期首残高	△1,518	29,093	2,434	217	388	3,041	32,134
会計方針の変更による 累積的影響額		△118					△118
会計方針の変更を反映し た当期首残高	△1,518	28,974	2,434	217	388	3,041	32,016
当期変動額							
欠損填補		—					—
利益準備金の取崩		—					—
固定資産圧縮積立金の 取崩		—					—
当期純損失(△)		△1,652					△1,652
自己株式の取得	△1	△1					△1
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)			△598	238	—	△359	△359
当期変動額合計	△1	△1,653	△598	238	—	△359	△2,013
当期末残高	△1,520	27,320	1,836	456	388	2,682	30,002

当事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金		利益剰余金合計
				固定資産圧縮積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	20,000	4,951	5,661	10,612	28	△1,799	△1,770
当期変動額							
欠損填補			△1,770	△1,770		1,770	1,770
固定資産圧縮積立金の取崩					△3	3	—
当期純損失（△）						△388	△388
自己株式の取得							
自己株式の処分			△0	△0			
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）							
当期変動額合計	—	—	△1,770	△1,770	△3	1,385	1,382
当期末残高	20,000	4,951	3,890	8,841	25	△413	△388

(単位：百万円)

	株主資本		評価・換算差額等				純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△1,520	27,320	1,836	456	388	2,682	30,002
当期変動額							
欠損填補		—					—
固定資産圧縮積立金の取崩		—					—
当期純損失（△）		△388					△388
自己株式の取得	△0	△0					△0
自己株式の処分	0	0					0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）			△10	55	—	45	45
当期変動額合計	△0	△389	△10	55	—	45	△344
当期末残高	△1,521	26,931	1,825	512	388	2,727	29,658